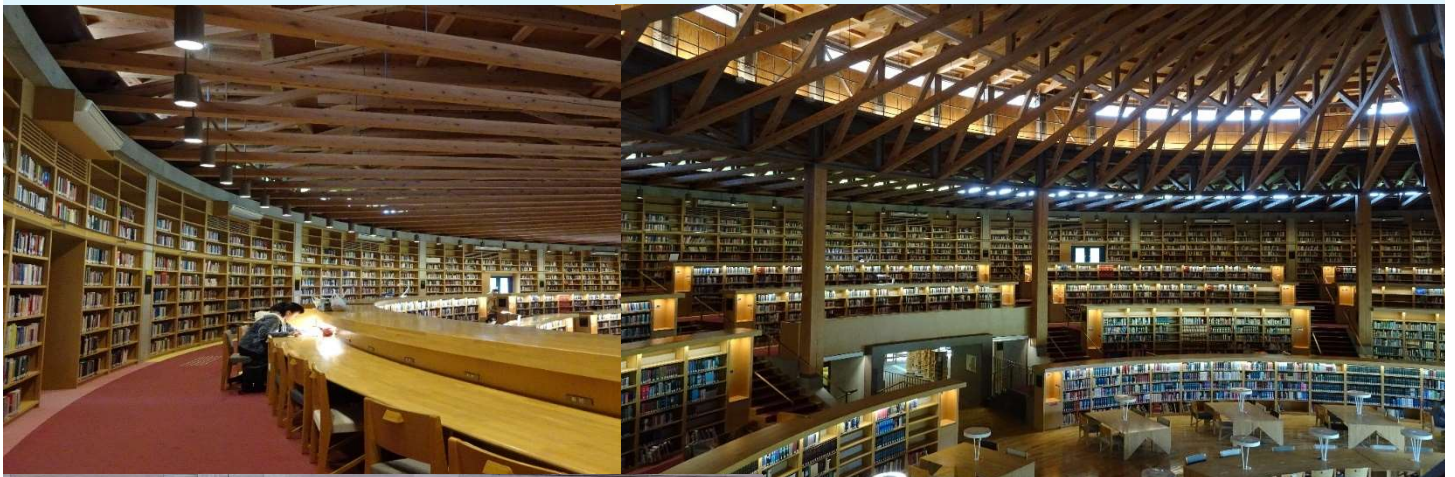


2021年度 図書館メディアセンター主催

図書館構想 第5回 勉強会

日時： 2021年5月19日(水) 12:30 ~ 13:00
場所： 桜美林大学 ヴァーチャル三到図書館
講師： 岡田万里子 先生 (リベラルアーツ学群教員)
題目： 図書館今昔： 陽明文庫から Hathi Trustまで

<参加自由 申込み不要>



私は図書館ヘビーユーザーであることから、これまで利用してきた特色ある図書館を紹介し、昨今の図書館の問題を考えます。財団法人陽明文庫は、国宝でユネスコの記憶遺産でもある藤原道長の自筆日記「御堂関白記」をはじめ、平安時代以来の多数の蔵書を誇る、利用制限の厳しい歴史資料保存施設です。

一方、私が客員教授をしていたミシガン大学では、Hathi Trustという壮大な電子図書館が作られていました。この電子図書館での蔵書のデジタル化によって、学内のどこからでも図書利用が可能となっていました。

日本では、蔵書の複写物のデジタル送信がようやく問題となっていますが、利用者本位の米国の図書館では、複写物のPDFでの受領は当たり前でした。日本は図書館のデジタル化の遅れや、職場としての図書館という観点でも苦況に立たされています。日本では大学図書館を含む多くの図書館が指定管理者に委託し、専門性を失い、公立の図書館も地域との結びつきを失いました。図書館をめぐる諸問題は、同時に社会のあり方をめぐる問題です。昼休みのひととき、みなさんと一緒に図書館の問題を考え、桜美林大学図書館のあるべき姿を考えてみたいと思います。 岡田万里子